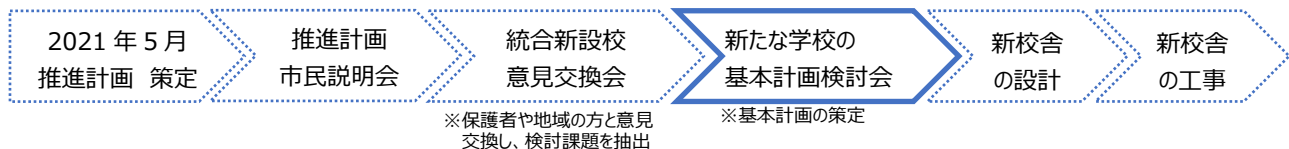




## まちだの新たな学校づくりに関する進捗状況について

2021年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下「推進計画」）に基づく「本町田地区、南成瀬地区、鶴川東地区、鶴川西地区」の統合新設小学校設置に向けた検討状況などについて報告します。

### <推進計画の進め方>



## 1 「本町田地区、南成瀬地区、鶴川東地区、鶴川西地区」の統合新設小学校設置に向けた検討状況

### (1) 新たな学校づくり基本計画検討会の構成及び開催状況について

#### ①検討会委員の構成

- 新たな学校づくり対象校の学校運営協力者の代表 ※学校運営協議会委員の方など
- 新たな学校づくり対象校の保護者の代表
- 新たな通学区域内の地域の代表 ※新たな通学区域内で地域活動をしている方など
- 新たな学校づくり対象校の教職員の代表

#### ②第1回・第2回開催日

地区	第1回	第2回
本町田地区	2021年12月23日(木)	2022年3月11日(金)
南成瀬地区	2022年1月24日(月)	2022年3月10日(木)
鶴川東地区	2022年1月28日(金)	2022年3月29日(火)
鶴川西地区	2022年2月7日(月)	2022年3月28日(月)

### (2) 検討内容

基本計画検討会の検討事項（～2022年度）	
ア 学校施設整備内容	新しく建設する学校の整備内容について検討します。 ※校舎や体育館、教室などの配置など
イ 通学の安全対策と負担軽減	新しい通学区域の通学路、通学の安全対策、通学にかかる負担の軽減策について検討します。
ウ 子ども達への配慮	統合時の子ども達の心理的な負担を軽減できるような配慮方法について検討します。 ※子ども同士の前交流など
エ 学校名	新しく建設する学校にふさわしい学校名について検討します。
オ 育てたい子ども像	新しい学校の教育目標を設定するために必要となる、新しい学校で育てたい子ども像について検討します。
カ 歴史の継承	新しい学校に今ある学校から引き継ぎたい「想い」や「もの」などについて検討します。
キ 保護者活動の合流	保護者組織の円滑な合流に向けたスケジュールなどを検討します。
ク 地域協働活動の合流	地域協働活動（学校支援ボランティアや学校運営協議会など）の円滑な合流に向けたスケジュールなどを検討します。



2023年度～

基本計画検討会における検討内容を踏まえて、学校統合に必要な配慮や対応を実施していきます。

## 2 意見募集の実施

各地区の「新たな学校づくり基本計画検討会」で、統合新設小学校の施設、育てたい子ども像、新しい学校に引き継ぎたい「想い」や「モノ」などを検討するため、児童や保護者、地域住民に意見募集を実施しました。

### (1) 意見募集実施期間・主な設問内容・実施方法

実施期間・方法	主な質問内容	実施方法
2022年1月26日(水) ～2月16日(水)	①各校や周辺地域のいいところ・キーワード(施設・施設以外) ②新しい学校に期待すること ③新しい学校に引き継いでほしいこと(歴史、行事など)	Webフォーム ※書面での回答も可

※分析・集計作業中(3月末完了)

### (2) 意見募集の対象者等

対象者	対象者数(4地区計)	配付・周知方法
統合対象校の児童	3,135名	学校を通じて配布
統合対象校の児童の保護者	3,135名	学校を通じて配布
新たな通学区域に居住している未就学児の保護者	2,906名	郵送
統合対象校の教員	212名	学校を通じて配布
新たな通学区域内の町内会・自治会	63名	町内会・自治会(代表者へ郵送)
上記以外の市民	—	ホームページ・広報紙

### (3) 意見募集の回答内容(速報)

項目	各地区で共通して見られた回答
各校や周辺地域のいいところ・キーワード	自然が多い(ひなた山、恩田川など)
学校施設として改善してほしいところ	学校施設の老朽化、校庭の大きさ、プール関連(日除け、配置、更衣室など) 体育館関連(空調、大きさなど)
新しい学校に期待すること	地域も利用できる学校
新しい学校に引き継いでほしいこと	学校を利用して行っている地域の行事
育てたい子ども像	自分で考える子、環境変化に対応できる子、元気な子、他人を思いやることのできる子

## 3 推進計画の変更内容(つくし野・南つくし野地区の学校候補地の変更)について

つくし野・南つくし野地区における新たな学校候補地について、学校建設に必要な「地区街づくりプラン」の変更が見込めないことから、2022年1月7日の町田市教育委員会第10回定例会において、以下のとおり変更しました。

【つくし野・南つくし野地区の変更内容】

**学校候補地を「つくし野セントラルパーク」から「つくし野小学校」へ変更する。**

新しい学校は、現在のつくし野小学校の校舎を解体し、建設することを計画しています。

2033年度、南つくし野小学校の校舎を活用し、つくし野小学校と南つくし野小学校は統合します。その後、2036年度に現在のつくし野小学校の位置に建設する新校舎へ移る予定です。

## 4 新たな学校の運用体制について

別紙の資料で説明します。

# 新たな学校の運用体制について

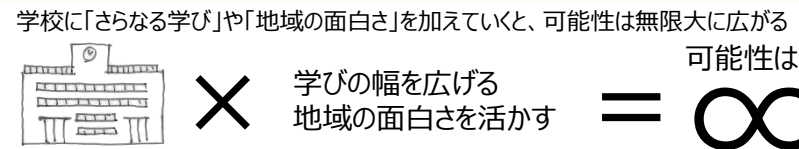
資料の見方：①～⑨を順番に見ていく。重要部分は「Point 2 5 6」。

**1** 新たな学校を地域拠点とするにあたり、みんながつどう要素を教員負担を軽減しながら追加するとともに、少子高齢化による地域人材の減少にも対応する。これまで町田市が築いてきたコミュニティスクールに、さらに民間の力を足すことで、学校でできることの幅を広げて、子どもだけではなく大人も活動のためにつどう仕組みを作る。

**3** ☆運用体制模式図☆ 新たな民間等活力と既存の仕組みを合体させる。

**Point 2**

みんながつどう  
地域拠点にする



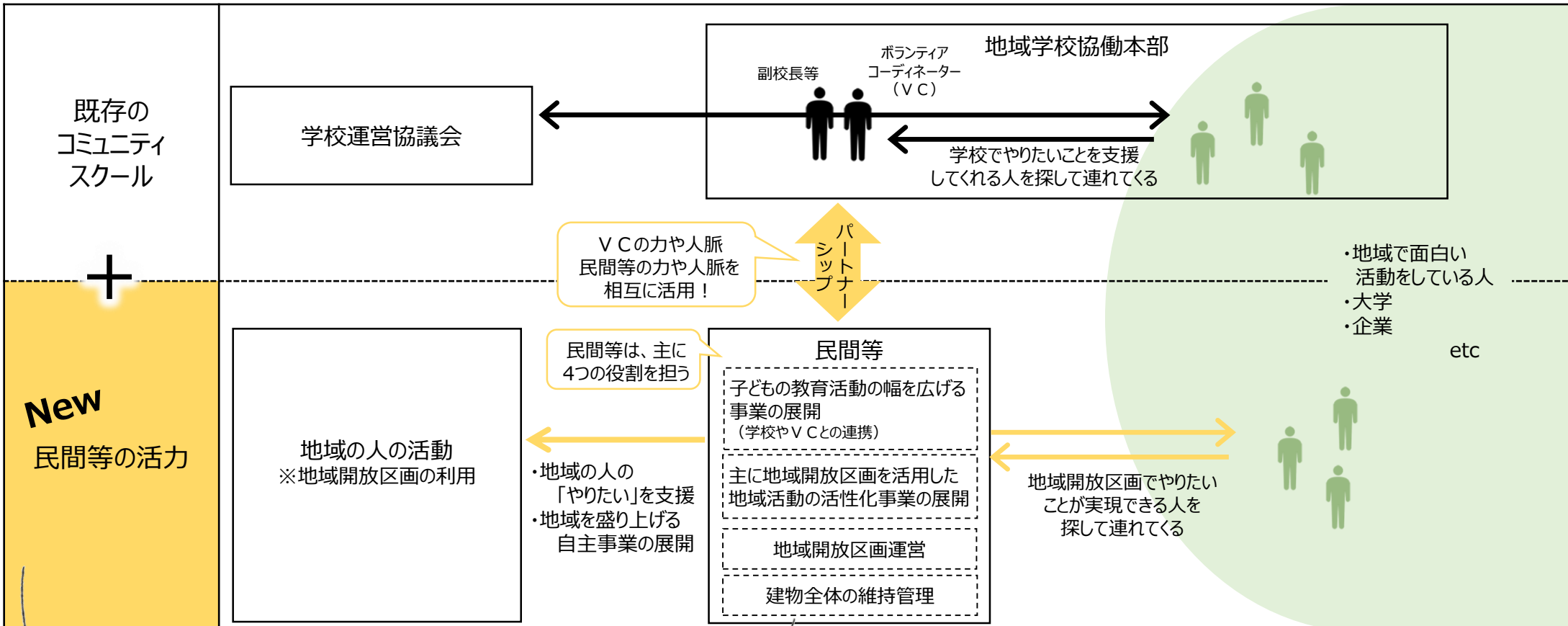
学校ってたのしい◎  
〇〇したいが叶う場所

新たな民間等の活力を導入して実現しよう!

教員が教育活動に専念できる環境にする

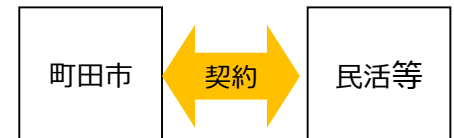


- 施設開放 ※体育館貸出業務など
- 建物の維持管理 ※施設不備の日常点検、修理の手配など

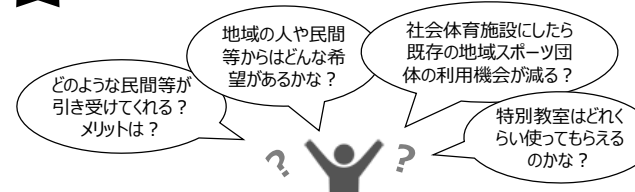


☆効果を最大限に引き出すために☆

**7** 様々な業務を一括で契約することで事務負担の軽減や相乗効果をあげることを考える



**8** 実施に向けて検討すべき課題



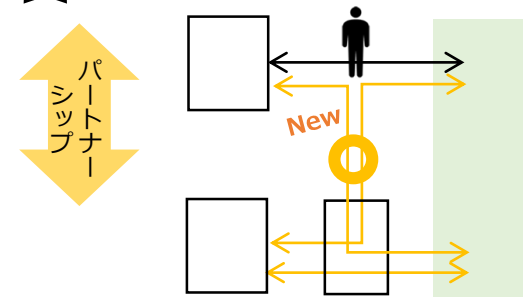
**9** 2040 に向けて運用体制も進化させる

●それぞれの地域の特色をさらに活かした活動ができるように、**地区別の運営**はどうか。

●学校、民間、地域それぞれ得意なところを活かしあうことで、無理なく**持続できる運営**になったらいいな。



**4** パートナーシップを結ぶと生まれる効果

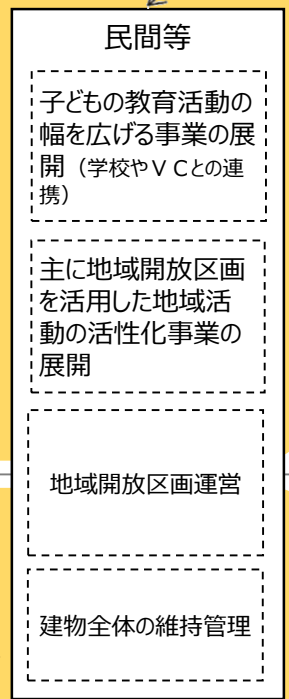


- ◆ 学校運営協議会が、VC等を通して民間等の人脈を借りられたり、企画の実施支援をしてもらえたりする。学校教育でできることの幅が広がる。
- ◆ VCが培ってきた力や人脈を民間等を通して地域の人の活動につなげられる。

新しい→が生まれて、みんなの学びや交流の範囲がぐっと広がる!

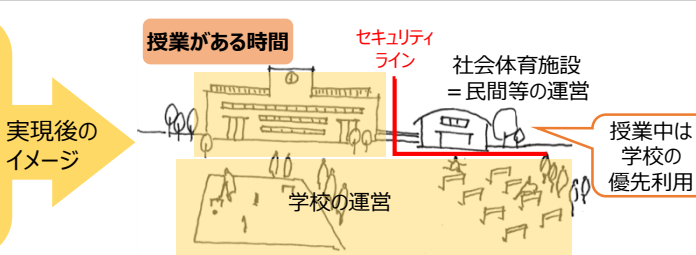
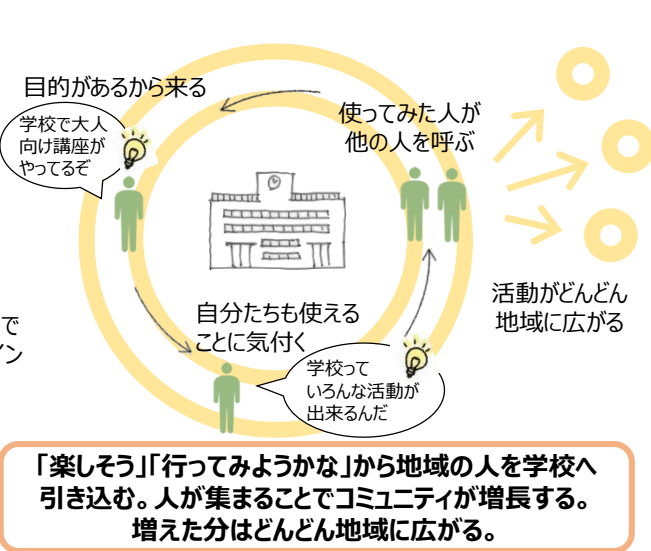
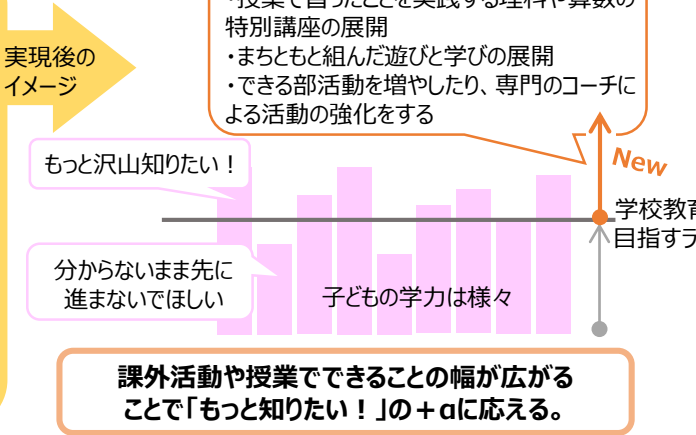
☆民間等を導入することで実現したい姿☆

**Point 5** 「みんながつどう地域拠点にする」ために導入したいこと



**Point 6** 「教員が教育活動に専念できる環境」にして、教員の負担軽減するために、導入したいこと

学びや交流の範囲が広がるとできるようになるかも



地域の人が使うことを前提とした施設づくり&学校から運営を切り離すことで教員の負担を増やさずに、地域への開放をしやすくする。

用語説明

- 学校運営協議会…学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行うため、市立小中学校に設置する合議体。
- ボランティアコーディネーター (VC) …授業、学校行事、部活動等の学校に対する地域協力者の手配及び調整をする人。
- 地域学校協働本部…学校と地域がより強固に連携・協働した地域学校協働活動を進めていくために設置。構成員は、学校職員・VC・地域学校協働活動に参画する個人や団体。